

議会ブログはこちら▶



TSB

東中 スペシャル プラス

～生徒・先生全員によるステージ！～

10/7 東中祭 🎵

- 決算審査…………… 4 ページ
- 9月定例会議…………… 6 ページ
- 一般質問…………… 7 ページ
- 議会の動き…………… 16 ページ

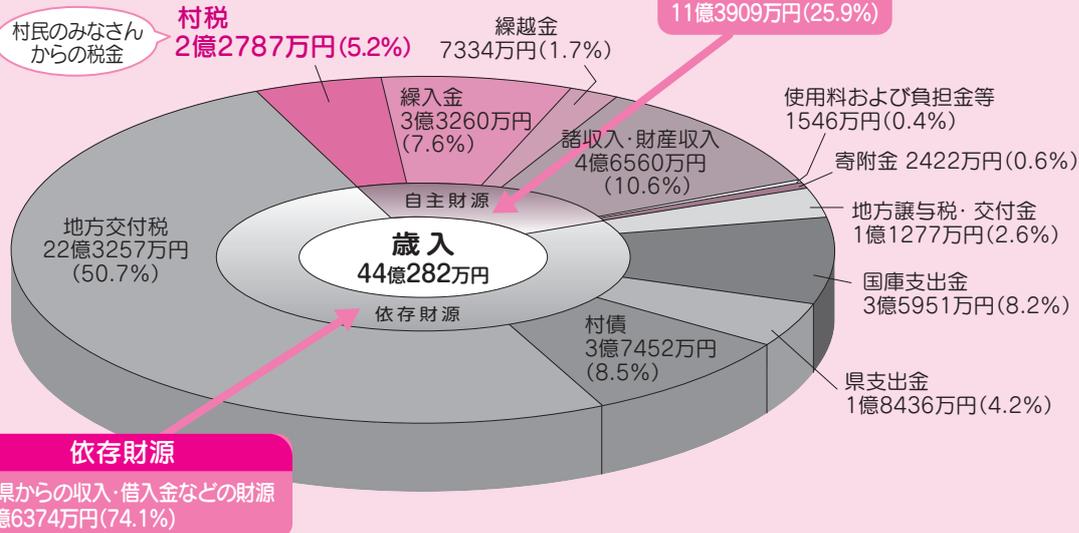
5年度へ繰越 7871万円

令和4年度の決算を認定！

9月定例会議

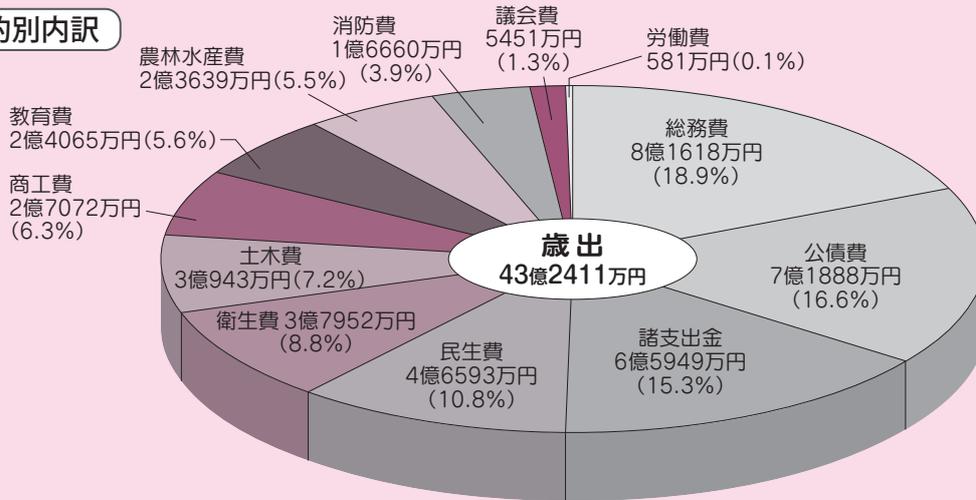
一般会計歳入 44億282万円

村民のみなさんからの税金



一般会計歳出 43億2411万円

目的別内訳



■各会計の決算額

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差し引き	収入未済額	
一般会計	44億282万円	43億2411万円	7871万円	3644万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	2億2627万円	2億2541万円	86万円	416万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億1416万円	1億770万円	646万円	0万円
	後期高齢者医療	3249万円	3082万円	167万円	0万円
	介護保険	3億9958万円	3億9922万円	36万円	25万円
	簡易水道事業	4億9533万円	4億9403万円	130万円	77万円
	下水道事業	9143万円	9017万円	126万円	84万円
	小計	13億5926万円	13億4735万円	1191万円	601万円
合計	57億6208万円	56億7146万円	9062万円	4245万円	

※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

令和4年度 一般会計のなかみ

1年間で、
村民1人あたり
このように
使われました

総務費
34.4万円



公債費(借金)
30.3万円



諸支出(貯金)
27.8万円



民生費
19.6万円



衛生費
16.0万円



土木費
13.0万円



商工費
11.4万円



教育費
10.1万円



農林水産費
10.0万円



消防費
7.0万円



議会費
2.3万円



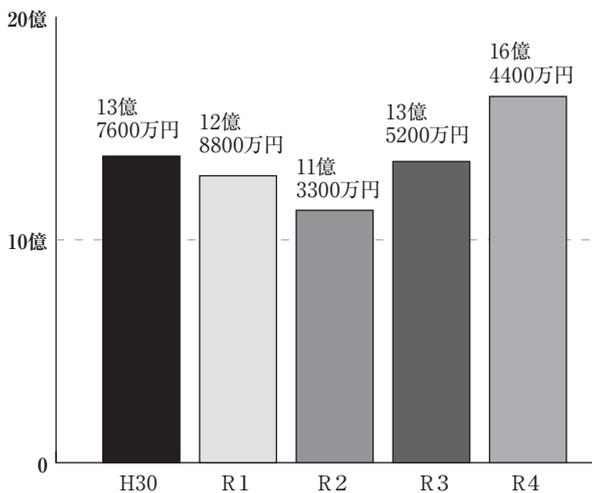
労働費
0.2万円



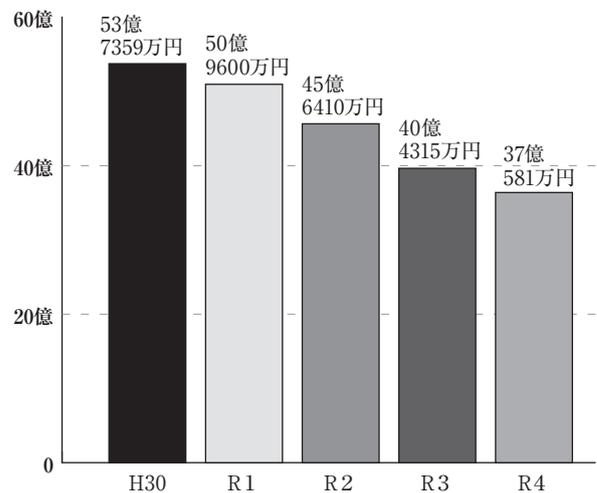
村民1人あたり 約182.1万円 (令和5年3月末日の人口2375人)

※特別会計を含めると約238.8万円使いました

財産調整基金(貯金) の推移



地方債(借金)借入 残高の推移



令和4年度決算審査

有効に使われているか！

歳入

不納欠損・収入未済額

質問 村民税、固定資産税、軽自動車税について、不納欠損・収入未済額があるが、主な要因は。

答弁 不納欠損については、当時未納だった方が生活保護になり、納税する力がなくなってしまうそのまま不納欠損になったケースと、収入が減り滞納額に対する納税が追いつかず不納欠損になったケースがあった。

収入未済については課税期日からその後村外に転出していた方の徴収に特に困っていて、当該市町村に対して実態調査を行ったり企業に対して給与の調査を行ったり、今後の差し押さえ等に向けて準備している。

歳出

未納者の世帯の状況

質問 収入状況等により、困窮に陥った世帯等であれば救済措置が行われた事例等あるか。

答弁 滞納者に対しては電話連絡及び対面での納税相談を基本として対応しており、相談の結果、収入面など必要に応じて福祉関連のサポートが必要だとすれば、民生課と連携を取りつつ生活保護等の検討をしていくことになる。生活保護受給者に対しては、固定資産税の減免措置が適用されている。

総務費

地域おこし協力隊の定着率

質問 村への定着率が低いように感じるが、任期終了後の就労や資格取得に関して助成などは考えているか。

答弁 村としてもできるだけ定住して欲しいと考える。生活など様々な理由があり、なかなか定着に結び付かない。今後に向けて色々と検討したい。

定住促進住宅建設

質問 定住住宅の建設に関して、もう少し早い計画段階で議会に示すことはできないのか。

答弁 地域おこし協力隊が増えている現状もあるが、住宅に関しては今年度の建設で落



民生費

敬老会への参加

質問 参加率を見ると、年齢制限の引き上げをしなくても良いのでは。

答弁 4、5年前から対象者が多すぎて年齢を引き上げるようになっていた。今回、4年ぶりに対面での敬老会を開催したので、評価をし来年度に向けて方向性を示したい。

衛生費

带状疱疹の予防接種

質問 令和4年度の対象者が65歳以上で、県内でも補助率がトップであるが、1回目より2回目を接種した人数が少ないのはなぜか。1回しか受けない場合もあるのか。

答弁 令和4年度から今年度にかけて2回目を接種してい

の方がいるので、令和4年度で見ると2回目を受けた方は少なくなっている。1回しか受けないという方は今のところ把握していない。

成人病予防事業

質問 還暦ドックを受けた人が少ないのでは。

答弁 還暦ドックについては3年間かけて2種類のドックを受けられる内容だが、60歳だと職場の健診を受ける方もいる。脳ドックは受診率が高く、関心が高いと感じている。

【農林水産業費】

畜産施設等指定管理料

質問 指定管理されている場所はどこか。また、借上料はどこに支払っているか。

答弁 ウルイの畜舎と、長倉・柳沢牧場の管理料となっている。

施設借上料については、長倉・柳沢牧場となり、それぞれの集落と、国有地が入っている長倉牧場については東北森林管理局に支払っている。



質問 短角牛を特産品として扱うのであれば、頭数の確保が必要ではないか。

答弁 指定管理をする上で、管理者は計画を提出し、審査を行っているが、現在は短角牛の生産は滞っている状況。村の特産品として売り出したということとは変わらないので、今後の対応を検討したい。

循環拠点施設

質問 落雷による修繕工事を行っているが、保険対象となったか。

答弁 落雷により冷却水を作るチラーというものが壊れたための修繕工事である。保険適用にはなったが、全額ではない。

質問 費用対効果を考えると、この施設に掛けた経費に対して、売上げが低いのでは。

答弁 施設を造る際、土壌改良をして良質なものにする循環型農業が目的であったため。

質問 循環型農業で育てた農作物に付加価値も付き良いことだとは思いますが、燃料を燃やすことは環境に良くないので、財源が減少する中で事業の存続を考える転換期に来たのでは。

答弁 畜産施設の消臭効果もあることもわかっていたので推奨してきたという経緯もある。初年度から経費が掛かりすぎているため、将来的に維



持出来ないかと考える。全国的に見るともみ殻を利用した先進事例はたくさんある。ただ、起債の償還も終わっていないので転用するには手続きが必要になってくる。そうしたことから、庁舎内でプロジェクトチームを作って先進地を視察するなどし、今後検討したい。

【消防費】

ハザードマップ作成業務

質問 作成業務委託料について、詳細は。

答弁 ウェブ版のハザードマップの作成業務委託料ということで、リニューアル後のホームページ上で公開している。

【教育費】

スクールバス運行委託料

質問 児童生徒数が減少している中で、会社に委託して行っている理由は。

答弁 スクールバスの運行区間と公共交通の運行区間が同じである場合、公共交通機関を活用している。また事業者については免許等が必要になり、そういった点から現在の委託先になっている。直営にするとなると、運転する職員の採用なども考えなければならぬため、全体的に検討しなければならない。

9月定例会議は、9月1日から15日までの審議期間で開催されました。

報告2件、条例案1件、予算案7件、決算認定7件の合計17件を審議。陳情2件を採択として、議員発議の意見書3件と議員派遣を含むすべての議案を、全会一致で原案のとおり可決・認定しました。

2日目には一般質問が行われ、6議員が登壇し村政を質しました。

条例

○移住定住住宅 条例の一部改正

・民間活力を導入しながら新たに建設中である【東成瀬村移住定住住宅】の設置について、条例を改正するもの。



監査委員の決算審査意見

【審査結果】

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

各基金の管理については適正であると認められた。

【審査意見】

実質収支は全会計とも黒字決算となつているが、実質単年度収支で見ると、特別会計においては国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）と簡易水道事業特別会計の2会計を除いた会計が赤字となつている。

赤字解消に向け一般会計・特別会計が一体となり適正な運営を望む。

今後の行財政運営にあたり、歳入においては、滞納繰越額は減少傾向にあるが、不納欠損処分が行われている状況にあり、引き続き積極的な収納対策に取り組み、収納率の向上に努められたい。

歳出においては、移住定住に向けた各種取組が行われているが、内容を十分に精査し、事業を進めてもらいたい。住民生活の維持、公共施設等の維持管理を念頭に、経常経費の削減を進めると共に、既存事業や各種維持経費についても必要に応じて見直しを行う事が重要になってきている。

行財政運営においては、少子高齢化、人口減少社会を前提に中長期的な財政計画に基づいて健全な運営に努められるよう望むものである。

職員においても村政全般の状況を理解共有し、歳入の確保に努めるとともに、社会情勢の変化に的確に対応していくことが必要であり、今後とも持続可能な行財政運営に努め、英知を結集し邁進される事を期待する。

監査委員

富田 幸市
佐藤 仁



伊勢谷 勝 美 議員

AEDを各地区に設置を

村長 地域創生推進事業を活用

質問 日本AED財団が、AED設置場所へ誘導してくれる無料アプリを公表している。村でも登録すべきと考える。

質問 AEDの訓練を受けた際、水害時に体を拭く物、女性の場合、覆うタオルが必要と指導された。村のAEDに設置すべきと考える。

質問 AEDを各地区に設置しては。

質問 コンビニは24時間営業している。設置場所として最適と考えるので、村から要望してはどうか。



村長 登録手続きを進めていく。

村長 不織布は入っていない。しかし、大きいタオルでない為、必要であるかどうか調査して検討する。



土砂災害防災訓練の際の講習

防災減災対策

質問 防災士資格者を推進し、活用してはどうか。

質問 各地区の地域住民が自分の命は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る為、自主防災組織への平常時の訓練を村としても、力を入れるべきと考える。

村長 令和4年11月22日に県から提案、要望を受けている。今年11月に防災士行政研修講座に2名の参加者を計画し、9月補正予算に研修会費用を計上している。

村長 自主防災組織は、自発的な活動を考えている。自治体が担うべき防災と地域の自主防災組織などの、それぞれの役割分担をしていくべきと考える。

高橋 登志明 議員

仙人ゆりは活用されているか

村長 現在は活用されていない



質問 新たな特産品とすべく商標登録した仙人ゆりは特産品として活用されているか。

村長 平成25年、県の事業として導入し、1法人に栽培を委託し個体数は確保したが、ビジネスとしては厳しいということ終了。現在農林課で管理し、城下の国道沿いに植栽している。現在は特産品として活用されていない。

質問 来年で商標登録の存続期間満了になるが更新して特産に活かしていくのか。

村長 これは可能性が無いわけではないので更新を行う予定。

村の特産品が少なく、せっかく商標登録を行っているので特産品として売出すことが出来るのではないかと思う。

ただ、行政からのアプローチではなく、やってみようという方が団体を作つて、一定程度の団地化を進め、そうしたものを特産品として流通に乗せて行く過程を行政がフォローしてあげるのが本来の姿と思う。そうした方が現れることを期待している。

移送支援事業の経費は

質問 今年度、試験的に行っている移送支援事業に使用されているレンタカーの業者の選択方法と契約内容は。

村長 村内業者との随意契約で内容は運行が決定した際に、申し込み手続きを行つて、後日その利用に応じてリース料を支払う。

質問 この移送サービスの経費は1日あたりいくらか。

村長 自動車の借り上げ料1万8700円。燃料代約1500円。運転手、買い物支援のボランティア3名の謝礼代1万8000円で1日あたり約4万円程度の経費となっている。



その他の質問
○村の自然公園について



佐藤 仁 議員

園芸部門への環境と基盤づくりを

村長 財政面から踏襲せざるを得ない

質問 園芸部門で、初期投資軽減のため村独自の施策で法人や個人も参入しやすい環境と基盤づくりが重要。村の農業にとつての園芸振興対策の位置付けと今後の取り組みの考えは。

村長 野菜・花きの振興は非常に大きな施策と認識。现阶段の助成対象者は、認定農業者や法人で個人へ対する助成はある程度の財源が伴い、財政状況から従来の施策を踏襲せざるを得ない。しかし、何人か数名で組織を構成し取り組みれば村で支援できると考える。

再質問 現施策では担い手がなかなか増えない。早急な対策が必要では。

村長 難しい問題のため皆さんの知恵を借り、先進地や他の過疎市町村の取り組みを参考に進めたい。



質問 「第5次総合計画」の農業振興園芸部門について、現在までの進捗状況は。

村長 全体では概ね60%程度の達成となっている。戦略作物の作付目標については、達成率91.7%。担い手確保と新たな作物導入では、トルコキキョウやキュウリの施設栽培など目標が新規農業者5名に対し3名と大きな成果と考えている。

新築住宅費用への支援拡充策を

村長 来年3月まで政策プランを示したい

質問 若者の移住・定住の促進のため抜本的な新築住宅費用への支援の拡充策は。

村長 要望も多く、早めに村からアクションを起こし、村の住宅政策を可能であれば来年3月の定例会議まである程度プランを示したい。

質問 マイホーム取得支援事業の事業目的の充実を図り、対象要件の拡充や補助等の見直しが必要と考えるが。

村長 税収入の安定化、税負担の公平性の観点から、前段の住宅政策と一体的に検討し、将来的には廃止の方向で検討している。



鈴木 実 議員



ダム完成後の観光ビジョンは

村長 西栗駒最大の観光資源に



り、広域での観光連携は必要である。現在進行形の協議会等もある。

質問 自家用車での観光が必須の東成瀬村だが、増加傾向にある電気自動車等の充電スポットの設置については。

村長 現在、なるテックが国の支援を受けながら設置予定であり、来月には役場とホテルプランに2台ずつ設置の見込み。成瀬ダム周辺にも設置していきたい。

質問 最終的な観光ダムの姿を想像しているか。

村長 西栗駒の一带に欠かせない、観光ルートの一つとして、最終的に地域振興全体に結び付くような成瀬ダムであってほしい。

質問 ダム湖周辺の環境整備、アクティビティ体験、観光施設等の計画は。

村長 現在、村の要望も交えながらダム工事事務所のコンサルを利用して整備計画を作成中。

質問 成瀬ダムを拠点とした観光の広域連携の可能性は。

村長 西栗駒最大の観光資源となり得る可能性がある。

村特産品の短角牛（赤べこ）の現状は

質問 村内における飼育状況は。

村長 7月末時点で繁殖牛が72頭、肥育牛が1頭、子牛3頭、種牛2頭の計78頭。今年4月から7月までの出荷が10頭。

質問 加工品、生肉の販売状況は。

村長 現在村内での加工ができず、一般販売がほとんど行われていない状況。常時販売は今のところ不可能。特産品維持のためには、再度再生計画が必要。





杉山 彰 議員

須川湖キャンプ場の管理は適正か

村長 村直営も視野に



質問 キャンプ場の営業日の減、料金アップやポート中止などへの不満の声が寄せられている。村の優れた観光財産が活かされていない。適正な業務遂行のための人材確保・事前準備・指導を行ったか。

村長 クレームは承知している。働き手が見つからず地域おこし協力隊員を任用した。初めての経験であり、委託先があつて村直営でないための難しさがあつた。指導は行っている。

再質問 今までの習熟した管理者のような「お任せ体制」を未経験者に適用するのは無理。役場職員が現場業務をわかつておらず丸投げとの声もある。今後村が協力隊員や活性化起業人を活用するにあつたての教訓とすべきでは。

村長 キャンプ場は西栗駒最大の観光資源と思つており、将来のビジョンも持っている。委託先をさまざまな村直営とし、正職員雇用も視野に入れることも考えている。ダム観光ともつなげていきたい。

土砂災害時の避難対策は

村長 自主防災組織にも期待

質問 ハザードマップにあるいくつかの避難所が崩壊危険箇所や氾濫域内にある。土砂災害の危険がある場合の策はあるのか。

村長 砂防堰堤などハード面の対策をとっており、未対策の避難所については防災センターに避難としている。

再質問 周知が不充分だ。自分がどう避難するか、配車をどうするかなど具体的なイメージを持っていないと実際には動けないのでは。

村長 村は急傾斜地が多いので豪雨ならば村外避難もある。自主防災組織での想定、確認が大切。避難訓練や各地区での初動確認などを村として支援していく。



佐藤 一人 議員

村直営にした理由は

村長 連絡体制整備のため



質問 雪下ろしサービス事業が、社会福祉協議会から村直営に変わった理由は何か。

また、サービスの申請や活動員の募集は。

村長 過去に連絡体制の問題があり、行政が主導して住民の安全を確保する必要があるので。広報で活動員を募集する予定。

今年度の活動員は昨季と同じかもしれないが、高齢化により将来的には業者に委託する可能性も。業者も人員確保が難しくなっている。



消防団活動

質問 消防団員数が減少し、高齢化が進行している。通常の仕事をもちながら、消防団活動を行う負担が増大している。負担軽減のため、省力化できる領域について検討を。

具体的な提案として、防火週間に実施される防災サイレンの代わりに、熱中症予防のアナウンスのように、村全体で一括鳴動させることはできないか。

村長 幹部会などに提案・協議していただきたい。また、団員数が減少する状況に対処するために、移住者からの協力を受け入れる方法についても検討したい。サイレンに関しては、消防活動の一環と捉えている。

商工業の支援を

質問 村が事業承継を支援するウェブマッチングサービスを導入する計画について、日本政策金融公庫のマッチング支援や商工会の情報やネットワークを活用し、より効果的な事業承継を図るための連携をしては。また、事業承継と移住をセットにして情報発信としては。

村長 このサービスは、今年の12月にサイトを公開できればと思っている。公開後もサービスの機能強化と、事業所の魅力を伝えるための工夫が継続的に行われる予定だ。

村の直面する人口減少と産業の担い手不足に対処する一つの戦略で、ウェブ上で、若者や企業の意欲を持つ人々と村の事業者をつなぎ、村内産業の後継者や担い手を見つけ出す試みた。村内の事業者や若者、企業

を結びつけることで、持続可能な地域経済を促進し、魅力的な村への移住を奨励したいと考えている。



その他の質問
○高齢者福祉・介護保険
事業計画について

常任委員会活動



ホームページ調査活動 — 総務教育民生常任委員会 —

この春リニューアルされた村のホームページについて、多くの村民から「ビジュアル重視で使い勝手が良くない」「情報が古いまま」「クリック数が多すぎる」などの声が寄せられており、6月定例会議中にもこの問題についての意見が出されたことを機に、総務教育民生常任委員会の調査活動として取り上げることとなりました。

委員会では、各委員からの指摘や疑問を集約し、事案の背後にある構造的・体質的問題を解明するため、確認事項を取りまとめ、当局に提出することとしました。

確認事項は、リニューアルに至った経緯、委託先との取り決めの有無、庁舎内の情報共有や公開の周知の問題などでした。

当局からの回答をうけての委員会ですらに確認事項を出し合い、8月4日には副村長、担当課長の出席のもと、説明を求めました。

以下はそれらを踏まえての委員会の見解です。



ホームページのリニューアルに関しては、最終的なチェック体制が不十分であり、各課の担当で更新するのであれば、職員一人ひとりの意識改革が必要ではないか。

また、「地域活性化起業人制度」という国の制度を使い経費削減に努めたことは良かったが、村の持ち出しが少ないからといって企業に全てをまかせず、行政側とも緻密に打ち合わせをし、真摯に取り組んでいくべきと考える。

今後、同様なことがおこらないよう、今回の件を教訓に業務に取り組むことを希望する。

村当局には委員会からの提言書を提出しました。

委員長 高橋 清一

厳しくチェック！ 課題解決につながる予算か

令和5年度一般会計
補正予算（第4号）

令和5年度国保特別会計
（事業勘定補正予算（第1号）

固定資産税の追加

質問 固定資産税の現年度分が追加となっているが、要因は。

答弁 ダム関連の償却資産分である。

県単農業夢プラン事業

質問 対象者は何件で、内容は。

答弁 対象者は2件のうち、1件は個人、1件は法人となっている。食品衛生法改正に伴う、いぶり大根の加工設備施設整備が1件、いぶり大根の機械を導入し効率化を図るものが1件。

除雪機械車庫のシャッター

質問 除雪機械車庫のシャッターを更新するようだが、開閉できなくなった要因は。

答弁 腐食による劣化が原因。電動部分が絡まり、閉まらない状態。3枚全てをオーバーライダーに更新する。

返納金の詳細は

質問 不当利得という説明だったが、詳細は。

答弁 返納金が2件あり、令和2年度において支払いが生じた診療報酬に関して、修正申告をしたため差額が生じ、返納金が発生したものが1件。令和4年度において外来と入院があつた国保資格者が診療を受けた当時、社保に既に資格が切り替わっていたが、国保の保険証を使って受診してしまつたため、返納金が生じた。



ダムサイトのベルトコンベア施設

令和5年度一般会計補正予算（第4号）の主なもの

歳入	
○村税	
個人民税増	1271 万円
固定資産税増	808 万円
○地方交付税	
普通交付税増	7967 万円
○使用料及び手数料	
定住促進住宅使用料増	86 万円
○県支出金	
県単農業夢プラン事業費補助金増	121 万円
○繰入金	
さわやかなるせ仙人の郷基金繰入金増	100 万円
森林環境譲与税基金繰入金増	200 万円
○繰越金	
前年度繰越金増	5579 万円
○村債	
臨時財政対策債減	▲1229 万円

歳出	
○総務費	
高橋よしひろ画業 50 周年記念事業増	496 万円
移住定住住宅借上料増	136 万円
空き家リフォーム支援事業助成金増	100 万円
○民生費	
障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金増	136 万円
保育体制強化事業費補助金増	120 万円
○衛生費	
国保（直診）特別会計操出金減	▲246 万円
○農林水産業費	
県単農業夢プラン事業補助金増	242 万円
畜産施設修繕料増	100 万円
林業費本工事費増（肴沢地区作業道補修工事）	200 万円
○商工費	
観光費修繕料増（やまゆり温泉源泉ポンプオーバーホール）	127 万円
観光費本工事費増（ホテルプラン非常用発電機代替工事）	374 万円
○土木費	
道路維持費増	550 万円
冬期交通対策費修繕料増（岩井川サブセンターシャッター）	400 万円
○消防費	
県消防操法大会経費増	87 万円
防災対策費修繕料増（防災無線手倉局）	115 万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金増	8000 万円
公共施設等総合管理基金積立金増	2000 万円
○予備費	
予備費増	1881 万円

9月定例会議議決事項名

令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について

移住定住住宅条例の一部を改正する条例について

令和5年度一般会計補正予算（第4号）

令和5年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

令和5年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第1号）

令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

令和5年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

令和5年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）

令和4年度一般会計歳入歳出決算認定について

令和4年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について

令和4年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定について

令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

令和4年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

令和4年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書の提出について

学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、基礎定数改善による正規教員増を求める意見書の提出について

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について

議員の派遣について

請願・陳情

9月定例会議で2件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

○ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

（陳情者）秋田県教職員組合

執行委員長 小林久美子

○学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を求める陳情書

（陳情者）加賀屋俊悦



傍聴しませんか？

会議はどなたでも傍聴できます。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

次回定例会議は、
12月上旬開会の予定！





第三セクターの 経営状況は

—— 全員協議会 ——

8月18日、議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社経営状況について報告を受けました。

議員からは、短期借入についてや、電気料・燃料の高騰に関する事、従業員不足等についての質問がありました。

全議員が参加！

—— 町村議会議員研修会 ——

7月21日に開催する予定となっていた、県内町村議会議員を対象にした議員研修会が、豪雨の影響で中止となっていました。9月26日に開催されることとなり、本議会からは全議員が参加しました。

研修会は、新潟県立大学准教授の田口一博氏による「議員のなり手不足と議員報酬」と、特定非営利活動法人地域おこし代表理事の多田朋孔氏による「地域の未来は自分で創る！〜限界集落からの挑戦〜」についての講演会でした。



ボッチャを体験！

—— 議員交流会 ——

10月4日、湯沢市を会場に、郡市の市町村（湯沢市・羽後町・東成瀬村）の議会議員交流会が開催されました。

今年度はボッチャを体験しながら、交流を深めました。東成瀬村議会チームは、4チームに分かれて出場し、1位から4位までを独占しました。



初優勝！

—— 壮実スポーツ大会 ——

9月23日、役場・議会・農協・教職員・商工会の、OBを含む壮年、実年のスポーツ交流大会が行われました。

4年ぶりの開催となる今年は、ダム工事関係となるテックチームも参加されました。

3コースをプレーし、交流を深めました。議会チームは団体初優勝でした！個人では、議会チームメンバーが男子の部1位と2位となり、好成績を収めました。



議会の動き

東成瀬村での開催！

― 県南三方町村議員研修会 ―

10月6日、当村を会場に、県南三方町村議会（美郷町・羽後町・東成瀬村）で組織する連絡協議会の研修会が開催されました。

今年度は、成瀬ダム工事現場を視察しました。



暫時 休憩

さんじ
きゅうけい

▼稲刈りが終わった田んぼを見ると子供の頃に首から風呂敷をなびかせ、田のくろ（畦畔）の段差をパーマンのごとく飛び跳ねて遊んだのを思い出す。ただそれだけで楽しかった気がする。

残念と言っているのか、いまだきそんな遊びをしているわらし（子供）を私は見た事がない。

▼猛暑に豪雨、今年もよく耳にした過去最高とか、「何十年ここに住んでいるけど初めてだ」と言うインタビューに答える声。

この先、この地球規模の気候変動はどれだけ記録をぬりかえていくのだろうか？

豊かな暮らしを求めてきた代償は計り知れないようだ。

（副委員長・高橋登志明）



おすすめスポットどこはどこ？ 答え：天正の滝展望台。

夢に向かって羽ばたけ!



No.11



なるせっ子

高校生にインタビュー



ひなた
佐々木陽向さん(岩井川)
湯沢高校3年生
趣味: 絵を描くこと

あなたにとって、東成瀬村といえば?

ほっとするところです。自然がたくさんあって、人工的なうるささがなく、自然を五感で捉えられるため、心が癒やされます。

将来、どんな仕事を目指していますか?どんな大人になりたいですか?
特に、決めてこれをやりたい!というものはないですが、社会に生きる人々を裏から支えるような人になりたいです。

友だち・家族へメッセージを!

家族へ…この上ない感謝。
友達へ…ふあいとお。



今号の
ベスト
shot

10/15 健康づくりフォーラム



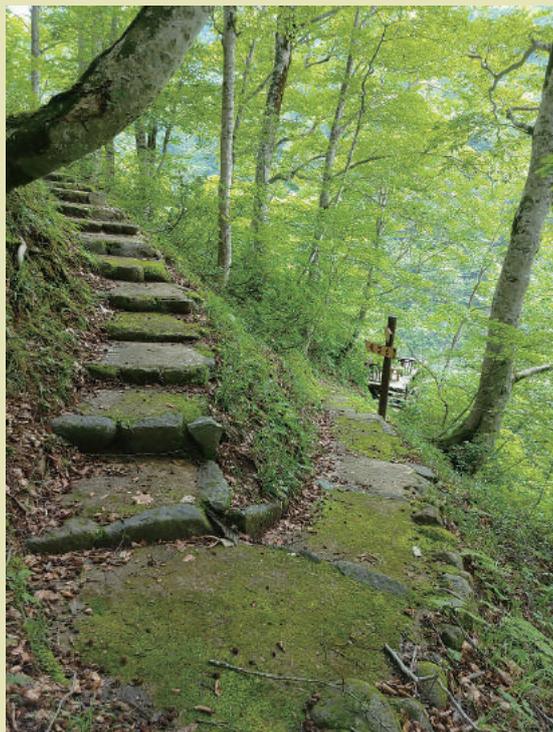
山形大学医学部附属病院 土谷院長(肴沢出身)による講演会



今回は…
高橋登志明議員の
おすすめ
スポット!

おすすめスポット
ここはどこ?

さて、ここはどこでしょう?
ヒントはここから滝を見下ろせます。紅葉の
時期もおすすめですよ。
(答えは17ページ)



東成瀬村

議会だより

令和5年10月20日発行

No.215

発行 東成瀬村議会

編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1

TEL 0182 (47) 3411 FAX 0182 (47) 3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

印刷/ 有限会社雄物川印刷